

循環障害手の機能評価表の記載法

I. 職歴

振動工具については、使用歴、何年間、何を使ったかについて記入する。

II. 罹患肢

両側の場合もある。

III. 症状

両側の場合、右の症状を○で、左の症状を△で記入し、両側同程度の時は◎で指定のところに記入する。

IV. 計測

指尖皮膚温は、デジタル温度計を指尖掌側中央にあてる。

爪圧迫テストは、爪をしっかり10秒圧迫し、離れたあと、全体に色が正常になるまでの時間をストップウォッチで計測する。

痛覚は21ゲージの針式でg表示する。

振動覚は125Hzを発振する器械（リオンAU-02型）により、強度数値を表示する。

V. 拍動は正常（+）、触れにくい（±）、触れない（-）で記入する。